

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	むすびヶ丘大崎		
○保護者評価実施期間	2025年2月10日		～ 2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34人	(回答者数) 28人
○従業者評価実施期間	2025年2月10日		～ 2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の特性に合わせたプログラム(個別・集団)を考え取り組んでいる。	個別支援計画に沿った課題に取り組み、様々な教材を使い、日々のプログラムを考えている。	療育の質の向上のため、いろいろな経験が積み重ねられるよう教材を増やしていく。
2	1時間モニターで支援の様子を見学することができ、子どもの対応、褒め方、今の状況を見ることができる。	子どもに合わせて机の位置を変えている。机上だけの取り組みでなく、一人一人に合わせた部屋の配置になっている。フィードバックの時、取り組んだ内容について目的と工夫した点など保護者へお伝えしている。また、家庭での様子など共有し、相談にも対応している。	家庭でできることを提案していく。 保育園・幼稚園の様子をお聞きし、情報共有していく。
3	手厚い支援体制ができる。	保育士5年以上の指導員や福祉経験者を配置している。担当指導員は、担任制ではなく、どの指導員とも関わられるよう療育に携わっている。 ケア記録で本日の様子を共有し、次回の療育に活かしている。	保護者とは、ペアレントトレーニング等で毎月相談できる場を持つようにする。 指導員間は、カンファレンスを行い、情報共有していく。 外部研修に参加し、知識も増やしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	緊急対応時のマニュアルや避難訓練の実施など、全保護者、全利用者に周知、説明ができていない。	児童ごとに利用日が違うので、全員が避難訓練を経験することができていない。	来年度は、1週間をかけて全利用者、保護者とともに避難訓練を実施する。実施後は、HUGの活動記録連絡で周知する。
2	情報発信が少ない。	ホームページで事業所の紹介はある。 療育内容や様子についてインスタグラムで情報発信をしているが、投稿回数が少ない。	旗の台とも協力し、制作物や療育内容など定期的に発信していく。
3	きょうだい向けのイベントの開催等きょうだい同士の交流の機会が設けられていない。	1日5コマに分かれており、同時に交流する機会が設けられない。	祝日の前日に保護者会を開催し、同時にきょうだい同士の交流もできないか検討する。